



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場会社名 三洋貿易株式会社 上場取引所 東
コード番号 3176 URL <https://www.sanyo-trading.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新谷 正伸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 管理部門担当 (氏名) 大谷 隆一 (TEL) 03-3518-1111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績(2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	107,535	8.8	6,557	18.5	6,714	11.2	5,406	18.3
2025年9月期第3四半期	98,807	3.0	5,532	△5.9	6,037	△17.2	4,569	△3.2

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 6,173百万円(39.1%) 2025年9月期第3四半期 4,436百万円(△25.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	93.80	93.31
2025年9月期第3四半期	79.32	78.90

(注) 2026年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	87,341	55,816	63.8
2025年9月期	81,496	51,321	62.9

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 55,729百万円 2025年9月期 51,230百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	28.00	—	29.00	57.00
2026年9月期	—	30.00	—		
2026年9月期(予想)				25.00	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2026年9月期の期末配当金の内訳は普通配当15円00銭、記念配当10円00銭です。

(注3) 2026年6月30日を基準日、2026年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。上記の2026年9月期(予想)の1株当たり期末配当金は株式分割考慮後の金額を記載しています。2026年9月期(予想)の1株当たり年間配当金合計は、株式分割の実施により、中間配当金と期末配当金との単純合算ができないため記載していません。なお、株式分割を考慮しない場合の2026年9月期(予想)の1株当たり期末配当金は30円00銭、記念配当20円00銭となり、年間配当金合計は80円00銭となります。

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	138,000	4.0	7,500	16.6	7,650	11.2	6,000	30.0	104.05

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

（注2）2026年6月30日を基準日、2026年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。上記の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割が2026年9月期の期首に行われたと仮定して算定しています。当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、通期で208円11銭となります。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社（社名） EMAS SUPPLIES & SERVICES PTE. LTD. 、除外 一社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： 無 |
| ④ 修正再表示 | ： 無 |

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期3Q	58,015,416株	2025年9月期	58,015,416株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	353,270株	2025年9月期	395,070株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期3Q	57,636,926株	2025年9月期3Q	57,605,265株

（注）2026年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）を算定しています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（金額の表示単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載していましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更しました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの売上高は、107,535百万円（前年同期比8.8%増）、営業利益は6,557百万円（前年同期比18.5%増）、経常利益は6,714百万円（前年同期比11.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,406百万円（前年同期比18.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

①ファインケミカル

ゴム関連商品は、一部海外グループ会社で需要減の影響がありましたが、国内向け原材料需要が好調に推移したことに加え、販売価格の見直しが奏功し、売上、利益ともに増加しました。

化学品関連商品は、インキ・塗料・接着剤原材料など国内主力商材の需要低迷は継続しているものの、供給不安を背景とした先取り需要の取り込みに加え、新規商売の立ち上がりや販売価格見直しの効果により、売上、利益ともに増加しました。

この結果、「ファインケミカル」セグメントの売上高は35,008百万円（前年同期比8.5%増）、営業利益は2,539百万円（同28.8%増）となりました。

②インダストリアル・プロダクツ

モビリティ関連商品は、中国の景気減速の影響を受けましたが、米国での自動車生産の好調に加え、EMAS SUPPLIES & SERVICES PTE. LTD.（以下、「EMAS社」という。）の全株式取得による連結化及び為替変動の影響により、売上、利益ともに増加しました。

海外では、メキシコでの追加関税対応により、Sun Phoenix Mexico, S.A. de C.V.の収益は低調に推移しました。中国は、競争激化による日系自動車メーカーの減産が続くなか、Sanyo Trading (Shanghai) Co., Ltd.におけるコスト削減活動により、利益は改善しました。アセアンは、一部地域向け輸出の好調と円安影響により、Sanyo Trading Asia Co., Ltd.（タイ）は売上、利益ともに増加しました。

この結果、「インダストリアル・プロダクツ」セグメントの売上高は30,414百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益は2,779百万円（同21.5%増）となりました。

③サステナビリティ

グリーンテクノロジー関連商品は、飼料加工機器の関連消耗品販売が堅調に推移したことに加え、木質バイオマス関連事業における大型案件の工事進行基準に伴う売上計上が寄与し、売上、利益ともに増加しました。

コスモス商事(株)は、洋上風力発電関連機材の案件を成約し来期に向けた積み上げが進んだものの、海洋開発関連事業の端境期となる影響で海洋調査資機材関連販売が減少し、地熱関連機材販売の伸びも限定的であったことから、売上、利益ともに減少しました。

この結果、「サステナビリティ」セグメントの売上高は9,407百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益は953百万円（同27.3%減）となりました。

④ライフサイエンス

マテリアルソリューション関連商品は、電材などの輸出、機能性添加剤などの輸入ビジネスが伸長し、売上、利益ともに増加しました。科学機器関連商品は、需要の回復を背景に複数案件の納入が進み、売上、利益ともに増加しました。

(株)ワイピーテックが取扱う機能性飼料原料は販売数量が伸長し、売上が増加しました。一方、(株)スクラムが取扱うバイオ分野の研究支援機器は遺伝子解析関連機器の代理店契約終了の影響で不調でした。

この結果、「ライフサイエンス」セグメントの売上高は31,563百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益は1,627百万円（同25.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、棚卸資産や前渡金の増加等により、前連結会計年度末比5,818百万円増加し、75,733百万円となりました。

固定資産は、EMAS社株式取得に伴うのれんの増加及び投資有価証券の売却等により、前連結会計年度末比27百万円増加し、11,608百万円となりました。

この結果、総資産は87,341百万円（前連結会計年度末比5,845百万円の増加）となりました。

(負債)

流動負債は、仕入債務の増加及び短期借入金の減少等により、前連結会計年度末比1,332百万円増加し、29,438百万円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債の増加等により、前連結会計年度末比17百万円増加し、2,086百万円となりました。

この結果、負債は31,525百万円（前連結会計年度末比1,350百万円の増加）となりました。

(純資産)

株主資本は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により増加しました。その他の包括利益累計額は、為替換算調整勘定の増加等により、増加しました。

この結果、純資産は55,816百万円（前連結会計年度末比4,495百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期連結業績予想につきましては、当第3四半期連結会計期間までの業績推移及び今後の見通しを踏まえ、2026年5月12日付「通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました通期連結業績予想を更に上方修正しています。詳細は、本日（2026年8月7日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,896	11,984
受取手形、売掛金及び契約資産	23,679	24,409
電子記録債権	2,730	2,525
商品及び製品	25,990	27,853
仕掛品	124	194
原材料及び貯蔵品	271	331
その他	5,366	8,545
貸倒引当金	△144	△111
流動資産合計	69,915	75,733
固定資産		
有形固定資産	3,464	3,525
無形固定資産		
のれん	685	1,704
その他	622	623
無形固定資産合計	1,307	2,327
投資その他の資産		
投資有価証券	5,352	4,669
その他	1,495	1,086
貸倒引当金	△39	△0
投資その他の資産合計	6,808	5,755
固定資産合計	11,580	11,608
資産合計	81,496	87,341

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,544	15,451
短期借入金	2,910	1,263
1年内返済予定の長期借入金	50	50
未払法人税等	1,540	1,306
契約負債	8,118	9,067
引当金	1,003	851
その他	1,938	1,447
流動負債合計	28,105	29,438
固定負債		
長期借入金	100	100
引当金	42	29
退職給付に係る負債	881	900
その他	1,045	1,056
固定負債合計	2,068	2,086
負債合計	30,174	31,525
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006	1,006
資本剰余金	461	477
利益剰余金	45,840	49,546
自己株式	△95	△85
株主資本合計	47,213	50,945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,047	1,705
繰延ヘッジ損益	109	82
為替換算調整勘定	1,860	2,995
その他の包括利益累計額合計	4,017	4,783
新株予約権	90	86
非支配株主持分	0	0
純資産合計	51,321	55,816
負債純資産合計	81,496	87,341

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	98,807	107,535
売上原価	81,613	88,553
売上総利益	17,193	18,981
販売費及び一般管理費	11,660	12,424
営業利益	5,532	6,557
営業外収益		
受取利息	45	33
受取配当金	115	114
為替差益	317	404
その他	143	151
営業外収益合計	622	704
営業外費用		
支払利息	61	59
売上債権売却損	30	53
投資評価損	—	397
その他	25	36
営業外費用合計	117	547
経常利益	6,037	6,714
特別利益		
投資有価証券売却益	929	1,269
固定資産売却益	—	74
負ののれん発生益	—	150
特別利益合計	929	1,494
税金等調整前四半期純利益	6,966	8,209
法人税等	2,398	2,802
四半期純利益	4,568	5,406
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,569	5,406

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	4,568	5,406
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△199	△342
繰延ヘッジ損益	39	△26
為替換算調整勘定	28	1,134
その他の包括利益合計	△131	766
四半期包括利益	4,436	6,173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,437	6,172
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれんの償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	340百万円	365百万円
のれんの償却額	348百万円	348百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	ファイン ケミカル	インダスト リアル・ プロダクツ	サステナ ビリティ	ライフ サイエンス	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	32,280	27,980	8,505	29,070	97,837	969	98,807	—	98,807
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,770	1,038	270	2,819	7,900	344	8,244	△8,244	—
計	36,051	29,019	8,775	31,890	105,737	1,314	107,051	△8,244	98,807
セグメント利益 又は損失(△)	1,971	2,288	1,311	1,298	6,870	△246	6,623	△1,091	5,532

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及び不動産賃貸業等を含んでいます。
2. 調整額は、以下のとおりです。
セグメント利益又は損失の調整額△1,091百万円には、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△1,138百万円、管理会計との為替調整額△49百万円、その他の連結調整額97百万円が含まれています。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において、2022年9月期に行いました㈱スクラムの全株式の取得に係る条件付き取得対価の追加支払が発生したことにより、「ライフサイエンス」セグメントにおいて、のれん126百万円を計上しています。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	ファイン ケミカル	インダストリアル・ プロダクツ	サステナ ビリティ	ライフ サイエンス	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	35,008	30,414	9,407	31,563	106,394	1,141	107,535	—	107,535
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,108	621	306	1,879	6,915	354	7,270	△7,270	—
計	39,117	31,036	9,713	33,443	113,310	1,496	114,806	△7,270	107,535
セグメント利益 又は損失 (△)	2,539	2,779	953	1,627	7,900	△366	7,533	△975	6,557

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及び不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、以下のとおりです。

セグメント利益又は損失の調整額△975百万円には、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△1,112百万円、その他の連結調整額136百万円が含まれています。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、EMAS社の全株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、「インダストリアル・プロダクツ」セグメントにおいて、のれん1,217百万円を計上しています。また、連結子会社である㈱ワイピーテックが㈱九州ミタカの全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、「ライフサイエンス」セグメントにおいて、のれん46百万円を計上しています。

(負ののれん発生益)

当第3四半期連結会計期間において、北九潜水㈱の全株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、「サステナビリティ」セグメントにおいて、負ののれん発生益を150百万円計上しています。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれていません。